

会議結果報告書

令和6年 3月29日

| | | |
|---------------------|--|--|
| 会議の名称 | 令和5年度第3回舞鶴市文化振興審議会 | |
| 種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 附属機関 <input type="checkbox"/> 懇話会等 | |
| 開催日時 | 令和6年3月22日(金) 15時30分～ | |
| 開催場所 | 舞鶴市役所 別館6階 612会議室 | |
| 出席者 | <委員> 中川委員長、直田副委員長、浦岡委員、小森委員、 鈴木委員、立道委員、田中委員、福本委員 <事務局> 福田部長他5名 | |
| 議題 | 1 あいさつ 2 議題 (1) 諮問 (2) ・諮問事項について ・令和5年度の取組状況について | |
| 公開の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 | |
| | <input type="checkbox"/> 部分公開 | |
| 傍聴者数 | 0名 | |
| 審議結果 及び 主な意見等 | 会議録のとおり | |
| 会議録の作成様式 | <input type="checkbox"/> 詳細 <input checked="" type="checkbox"/> 要約 | |
| 備考 | | |

| | |
|-----|---|
| 担当課 | 舞鶴市 市民文化環境部 文化振興課 TEL (0773) 66 - 1019 |
|-----|---|

令和5年度第3回舞鶴市文化振興審議会会議録

日時:令和6年3月22日(金)15時30分～17時15分

場所:舞鶴市役所 別館6階 612会議室

出席:(委員)中川委員長、直田副委員長

浦岡委員、小森委員、鈴木委員、立道委員、田中委員、福本委員
(事務局)6名

会議内容:

1 あいさつ(中川委員長)

2 議事

(1)諮問

- ・アートプログラムデリバリー事業の拡充
- ・舞鶴市優秀文化賞表彰対象者の拡充
- ・音楽を通して子ども達に生きる力を育むまちづくり協定の期間延長

(2)議題

- ・諮問事項について
- ・令和5年度の取り組み状況について

(3)その他

委員からの主な意見等:

【アートプログラムデリバリー事業の拡充】

- アートスタートが対象としている乳児と、現アートプログラムデリバリーが対象としている小中学生との狭間にある幼児を対象として拡充する旨了承。

【優秀文化賞表彰対象者の拡充】

- 仲間内で順番に受賞するようなことが無いよう選考基準を明確にする必要がある。
- 客観的に権威ある賞になるようにすべき。
- (事務局)各団体からの推薦をもとに候補者を決定するが、推薦団体には、その根拠となる功績を示していただく。被表彰者は、審議会委員の意見を参考に市が決定する。

【協定の期間延長】

- 一年の延長を認める。
- 活動の成果を具体的な数値等で審議会へ報告してほしい。

【令和 5 年度取り組み状況】

- 成果指標がアウトプットだけになっている。アウトカムで評価できるよう対象者等の意見をきく必要がある。
- 来場者数が全てではないが、古い事業は来場者数が減っている印象がある。来場者アンケートを取ることも大切。
- 地域創造の補助金など様々な制度を活用して人材育成するべき。
- 人材育成については、いきなり事業の企画は誰も出来ないので、まずは総合文化会館や学校等での催しの際に運営を手伝える人から育てていく必要がある。
- 障害者を主なターゲットとしている事業が 2 つしかなかった。今後ぜひ増やして欲しい。
- 文化の継承に危機感を感じている事業がたくさんあり、文化の機運を高める重要性を感じる。
- 第 2 次文化振興基本計画において重点的に取り組むこととした項目の成果指標について、令和 8 年度に向けての目標値を既に達成しているものが多くあった。目標値の見直しが必要である。
- 市展等、参加者が低迷している事業について、主催者の自己満足になっていないか、市民側の意見を聞き、メスを入れる仕組み作りが必要。
- 文化財の活用に関しても審議会の所管である。生涯学習、社会的包摂、民俗文化財の伝承等視野を広く持たなければならない。

□諮問に対する答申は、委員長に一任